

次期学長に求められる資質・能力について

令和2年10月1日

国立大学法人信州大学学長選考会議

国立大学法人信州大学（以下「信州大学」という。）の次期学長は、信州大学が掲げる理念・目標を尊重しつつ、少子高齢化、技術革新、グローバル化などの進展に伴う様々な変化が想定される状況のなかで、社会の期待に応えられる特色ある大学としての役割を果たし、その存在感を更に高めることを目指して大学を運営していくことが求められます。

具体的な方向性としては、2030年までに信州大学が目指す姿と取り組むべき課題及びその実現のためのシナリオとして策定された「信州大学長期ビジョン VISION 2030」に基づく改革を着実に推進していくことが期待されます。

そのために、学校教育法及び国立大学法人法の趣旨を踏まえて、信州大学の最高責任者としてリーダーシップを発揮できるよう、次期学長には次のような資質・能力が求められます。

1. 学内外から敬意と信頼を得ることができる高潔な人格と優れた学識を有すること。
2. 信州大学の強み・特色を生かしつつ、大学が掲げる理念・目標の達成を目指すための明確なビジョンとそのための具体的な方策を持っていること。
3. 「信州大学長期ビジョン VISION 2030」の創造的な展開・実現、第4期中期目標・中期計画の達成などによる信州大学の評価向上に対する強い意欲と具体的な方策を持っていること。
4. 文部科学省による「国立大学改革方針」（令和元年6月18日）及び文部科学省、内閣府、国立大学協会による「国立大学法人ガバナンス・コード」（令和2年3月30日）を踏まえて、信州大学における教育研究活動を適切かつ効果的、積極的に推進するための組織運営能力とリーダーシップを持っていること。
5. 信州大学構成員の幅広い層から創意工夫の提案を引き出すためのコミュニケーション力を有すること。
6. 信州大学が目指す方向性について、社会の各界から幅広い理解と協力を得るための発信力と実行力を有すること。

信州大学の理念・目標

○理 念

信州大学は、信州の豊かな自然、その歴史と文化、人々の営みを大切にします。

信州大学は、その知的資産と活動を通じて、自然環境の保全、人々の福祉向上、産業の育成と活性化に奉仕します。

信州大学は、世界の多様な文化・思想の交わる場所であり、それらを理解し受け入れ共に生きる若者を育てます。

信州大学は、自立した個性を大切にします。

信州大学で学び、研究する我々は、その成果を人々の幸福に役立て、人々を傷つけるためには使いません。

○目 標

【教 育】 かけがえのない自然を愛し、人類文化・思想の多様性を受容し、豊かなコミュニケーション能力を持つ教養人であり、自ら具体的な課題を見出しその解決に果敢に挑戦する精神と高度の専門知識・能力を備えた個性を育てます。

【研 究】 人類の知のフロンティアを切り拓き、自然との共存のもとに人類社会の持続的発展を目指した独創的研究を推進し、その成果を地域と世界に発信し、若い才能を引きつける研究環境を築きます。

【地域貢献】 信州の自然環境の保全、歴史と文化・伝統の継承・発展、人々の教育・福祉の向上と産業発展の具体的課題に貢献するため、大学を人々に開放し関連各界との緊密な連携・協力を進めます。

【国際交流】 諸外国から学生・研究者を積極的に受け入れ、世界に開かれた大学とし、信州の国際交流の大きい推進力となります。